

オーハツの芝谷社長が受賞 全国消防機器協会会長表彰



表彰状を授与される芝谷康二氏

一般社団法人全国消防機器協会（橋爪毅会長）は5月31日午後、東京・元赤坂の明治記念館で定時総会の後、末広の間で「消防機器等関係者表彰式」を開催しました。会員団体より推薦を受けた55名が令和元年度の全国消防機器協会会長表彰として受賞しました。表彰状の授与の後、受賞者全員が館内の写真スタジオへ移動し、記念撮影を行いました。その後、表彰祝賀会を開催しました。

同日の表彰式では冒頭、橋爪毅会長（能美防災株式会社代表取締役社長）が開会あいさつを行いました。橋爪毅会長は「本日受賞をされます皆様におかれましてはその豊かな知識と経験をもとに、時代の要請や技術革新の動向に対応した新しい消防機器の開発・改良・製造・普及等を通じ、国民の皆様が安全に安心して生活できるよう今後とも尽力されとともに、後進の指導育成にも力を注がれますようご期待を申し上げます」と述べました。

続いて、橋爪毅会長より、受賞者全員に対し、表彰状が授与されました。そのうち、自家発電装置関係では、大阪府富田林市にある防災用・非常用の自家発電装置、自立盤等の老舗製造メーカー「オーハツ株式会社」代表取締役社長の芝谷康二（しばたに・こうじ）氏が受賞されました。

その後、来賓祝辞として、総務省消防庁長官の



左から黒田武一郎消防庁長官、オーハツの芝谷康二社長、松尾圭造取締役、清水浩営業部長

黒田武一郎氏、日本消防検定協会理事長の大江秀敏氏、一般財団法人日本消防設備安全センター理事長の門山泰明氏の3氏が登壇して、それぞれの立場から祝辞を述べました。

そのうち、黒田武一郎消防庁長官は「栄えある表彰を受けられました皆様方におかれましては長年にわたり消防機器の開発・普及に尽力され、消防関係業界の発展に多大な貢献をなされてきたこと心から敬意を表する次第です」と述べました。

最後に、来賓として臨席された消防庁予防課長の鈴木康幸氏、全国消防長会事務総長の坂野恵三氏の2氏が司会者による紹介の後、その場で起立して、あいさつを述べました。

同協会では、自家発電装置・消防ポンプ・消火装置・火災報知器といった消防機器等に関連する開発・改良・製造・販売・普及等を通じ、我が国の消防防災体制の確立に多大な功績をあげたとして、会員団体より推薦を受けた方々を対象に、毎年度の定時総会の後に、会長表彰を実施しています。

なお、会員団体、受賞者全員とその同行者、消防行政・消防機器に携わる関係者が参集して、曙の間で「表彰祝賀会・定時総会懇親会」を開催しました。約270名が出席しました。



表彰祝賀会であいさつする橋爪毅会長